

登録コード	L1532700	開講年度	2026				
担当教員	高瀬 弘樹			副担当			
授業科目	心理学研究法【EA】						
英文授業名	Psychological Research Methods						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生	2～4	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期
講義室			遠隔授業科目	該当	読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ						
	【2023年度以降加修対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			⇔	人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身につくようになる。		
	【2023年度以降加修対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】			⇔	専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身につくようになる。		
授業で学べる「テーマ」	その他						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	心理学における研究法を紹介し、その使用法と意義について説明する。また、それぞれの心理学的研究法が、実際の研究においてどのように用いられているか紹介する。						
授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：心理学研究法の概要 第3回：リサーチデザイン 第4回：研究倫理 第5回：実験法 第6回：調査法 第7回：観察法 第8回：面接法 第9回：介入研究法 第10回：心身医学研究 第11回：独立変数 第12回：従属変数 第13回：剰余変数 第14回：さまざまな実験法 第15回：心理学に特有な問題、授業アンケート 定期試験 なお、状況に応じて、予告した内容を変更する場合がある。						
成績評価の方法	小レポートおよび小テスト5割、定期試験5割の比率で、心理学における研究法の理解度を評価する。						
成績評価の基準	授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、例題からは難しい応用問題が解ければ「卓越している」。						
事前事後学習の内容	発表スライドを事前にeALPSにアップしておくので、それを用い予習すること。						
履修上の注意	本授業は、オンデマンド（非同期型）形式で開講する。5月初旬までに15回分の動画を視聴し、課題を終えることとする。その後、5月中に試験を行う（具体的な日時については、eALPSに掲載する）。心理学概論、心理学統計法を履修していることを前提に講義を進める。心理学的な研究方法を用いて卒業研究を行う学生が受講することが望ましい。						
質問、相談への対応	火曜日の12:30から13:20をオフィスアワーとする。研究室の場所は人文学部棟5階。相談のある学生は、事前にメールにてアポを取ること。アドレスは、takaseh (at) shinshu-u.ac.jp						
教科書	授業中に配布、もしくはeALPSにアップロードする。						
参考書	高野陽太郎・岡隆編（2025）. 心理学研究法―心を見つめる科学のまなざし 第3版 有斐閣 2,420円（税込） 下山晴彦・佐藤隆夫・本郷一夫監修（2020）. 心理学研究法（公認心理師スタンダードテキストシリーズ4） ミネルヴァ書房 2,640円（税込）						